

(様式2)

## 放射線等に関する教育実践事例

学校番号・学校名	〈小・44〉	いわき市立	鹿島	小学校
＜実施日＞	平成 28 年 7 月 15 日 ( 金 )			
＜実践教科等＞	※当てはまる番号に○を付けてください。4は( )に教科等を入れてください。 1 理科 ② 学級活動 3 総合的な学習の時間 4 その他 ( )			
＜実践内容＞	1 本時のねらい がんなどの病気の要因は様々なものがあることを知り、健康的な生活を送るためには、規則正しい生活を送ることが大切であることに気づくことができる。			
	2 実践の流れ (1) 放射線について知る。 児童から放射線に関して事前に調べてきたことを挙げさせた。「がん治療のために使われる」一方で「がんの原因にもなる」ということが挙げられ、放射線のことについてもっと知らなければいけないという必要感が生まれた。また、放射線とはどんなものかについて、豆電球をモデルとして確認した。			
	(2) 本時のめあてを捉える。 原子力発電所の事故で避難している人がいることや放射線による人体への影響を心配する人が多くいることを確認して、本時のめあてを捉えさせた。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">放射線と健康の関係について調べよう。</div>			
	(3) 身の周りにはどんな放射線があるのかを知る。 身の周りの空気中、地面、食べ物等にも放射線が含まれていること、そして、身近にある放射線では健康的な暮らしが脅かされることはないことを話した。			
	(4) 健康的な生活を送るためにどのようなことをするべきか話し合う。 放射線もがんの原因の一因であるが、その他にも食習慣、生活習慣、遺伝等、がんの原因となることを伝え、自分たちが健康的な暮らしをするためにできることは何か考えさせた。			
	(5) 健康的な生活を送るためにどのようなことをするべきか話し合う。 (4)での話し合いを基にまとめを行った。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">・ 放射線はとても身近なものである。 ・ 病気から体を守るには規則正しい生活を送ることが大切である。</div>			
	(6) 本時の学習の感想を発表する 「放射線がどんなものなのか分かりました。」、「健康な生活をするために、きちんとした食事をしたいと思います。」等の感想が出された。中には「放射線は危険だと思いました。」という児童もいた。			
＜成果＞	○ 事前に放射線について調べさせてきたことにより、分かったことや問いが増えて、放射線に関する意欲が高まった。 ○ 放射線に関する基本的な知識を確認したことにより、知識面での個人差がなくなりペアやグループでの話し合いが活発になった。			
＜課題＞	● 自分自身の健康的な生活について考えさせる際、児童の思考が放射線から離れていったように見えた。放射線を必要以上に浴びない、線量の高いところには近づかない等、放射線に対してどういう行動をとるとよいか考えさせる必要もあった。 ● 学年の系統性や一年間の放射線教育を考慮すると、1時間の中でどこまで指導すべきか悩むところが多々あった。			
資料作成担当者職(教諭)氏名	( 菅野 智弥 )		学校電話番号 ( 29-2052 )	

【 資料作成上の注意 】

1. 平成27年8月～平成28年7月の実践についてまとめてください。
2. 提出期限の平成28年8月1日（月）までに電子メールで送信してください。  
（送信先：[kakuta-k@city.iwaki.fukushima.jp](mailto:kakuta-k@city.iwaki.fukushima.jp)）